

国際交流センターからのお知らせ

2018年度インドネシア EPA 看護師候補者の受け入れについて

医療保健学部 医療情報学科においては、国際交流の一環として、平成 28 年度から経済連携協定（EPA）によるインドネシア人の看護師候補者や介護福祉士候補者との学生交流を実施しております。

本取り組みは、医療情報学科の 3 年次医療情報ゼミの一環として運営していますが、医療栄養学科の学生も参加することにより多職種交流、国際交流が融合した学修成果が期待されます。

本学科においては、昨年に引き続き、10 月 29 日（月）インドネシア看護師候補者 31 名、引率者 3 名を受け入れ、病棟情報システム、患者シミュレータ、治療や自助具の体験学習のほかそれぞれの将来像などについて意見交換を行う予定です。

本学の担当教員は、医療情報学科から今泉教授、瀬戸准教授、駒崎講師、杉田助教の 4 名です。医療栄養学科からは、齋藤講師、新井助手に協力いただき実施いたします。

なお、インドネシア看護師候補者・介護福祉士候補者は、来日後 6 ヶ月間の日本語研修を経て、その後日本全国の病院で実習しながら国家試験の合格を目指しています。

2018 年 10 月 国際交流センター